

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の債権…償却原価法(定額法) によっている。
- ②その他の有価証券で時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ①出版物…個別法による時価（売価）法によっている。
- ②貯蔵品…個別法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ①リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。
- ②ソフトウェア
定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（簡便法による自己都合要支給額）に基づき、財団が負担すべき額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	773,706,422	252,700,200	40,000	1,026,366,622
小計	773,706,422	252,700,200	40,000	1,026,366,622
特定資産				
退職給付引当資産	32,897,030	1,790,280	81,580	34,605,730
運営資金引当資産	47,500,000	26,720	26,720	47,500,000
減価償却引当資産	4,582,149	0	0	4,582,149
基本財産準備資産	6,515,200	0	0	6,515,200
小計	91,494,379	1,817,000	108,300	93,203,079
合計	865,200,801	254,517,200	148,300	1,119,569,701

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,026,366,622	1,026,366,622	0	0
小計	1,026,366,622	1,026,366,622	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	34,605,730	0	0	34,605,730
運営資金引当資産	47,500,000	0	47,500,000	0
減価償却引当資産	4,582,149	0	4,582,149	0
基本財産準備資産	6,515,200	6,515,200	0	0
小計	93,203,079	6,515,200	52,082,149	34,605,730
合計	1,119,569,701	1,032,881,822	52,082,149	34,605,730

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末 残高	当期末増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
文化振興 事業補助金	姫路市	0	137,244,050	137,244,050	0	
国際交流 補助金	姫路市	0	30,291,499	30,291,499	0	
市町ホール 活用支援事 業助成金	公益財団法人 兵庫県芸術文 化協会	0	347,416	347,416	0	
合計		0	167,882,965	167,882,965	0	

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しているので省略。

- 2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	32,897,030	1,790,280	81,580	0	34,605,730